

## 意見交換における民間委員の主な意見

### ○地域産業振興構想について

⇒ 地域産業振興構想（案）について前回会議からの修正箇所等の説明を行い、内容について民間委員へ諮ったうえで、記載内容について了解を得た。

### ○地域産業振興構想に沿った産業振興施策の取組について（主な意見）

#### **基本方針Ⅰ**「大地と海の恵みを未来へつなぎ、持続的で力強い農林水産業」について

- ・林業の担い手において、対価が安いといったことから雇用の確保が難しいということもあるので、林業団体でも、経営方式、特に管理体制を変えていき、若い従業員へ対価がもらえる仕組みが必要である。
- ・本市離島の漁業法人に、一般的な漁協を介した出荷体系から独自の流通手法による6次産業化に向けた取り組みや地域外から積極的な漁業担い手を確保している事例がある。こうした新しい取り組みを積極的に推進してはどうか。

#### **基本方針Ⅱ**「受け継がれる技能・技術を新たな価値の創造につなぎ、個性がひかり、市場を勝ち取る事業を育てる」について

- ・産業支援機能の体制を確立していくためには、商工団体、農協、漁協、森林組合といった経済4団体の連携や交流が必要ではないか。

#### **基本方針Ⅲ**「ゆったり・じっくり観光」といった滞在型・体験型の観光コンテンツの充実により、新たなまちの魅力を創る」について

- ・インバウンド対応として情報発信を進めるにあたり、「特命チーム」のような専属部署を設置し集中的に展開してみてもどうか。
- ・市の施策が観光振興から産業振興へシフトしてきているが、観光振興（観光 PR、誘客）にも力を入れていただきたい。
- ・インバウンド対応として、例えば市内飲食店におけるメニューの多言語表記（翻訳等）などを進めてはどうか。また、そうした支援をしてはどうか。

#### **基本方針Ⅳ**「女性の多様な働き方を応援し、社会でイキイキと活躍できる環境づくりを推進する」について

- ・土日に出勤しなくても済むような行政側からの発注形態を望む。
- ・地域格差が少ないような賃金体系を提示できるよう取り組んでいる（輸送業）。
- ・働く意欲の高い方に対する職業の自由（副業）

**基本方針Ⅴ**「チャレンジマインドの醸成と、起業・創業、新分野への進出など市民や企業のチャレンジを支える基盤を構築する」について及び**基本方針Ⅵ**「付加価値の創出の源泉となる人材力を強化する」について

・高齢な小規模事業者の多い周辺地域では、事業承継が大きな問題であり、首都圏等のふるさと回帰支援センターへ訪れる UJI ターン希望者とのマッチングを図る上で、こちらから事業承継等も含めた情報提供ができないか。

**基本方針Ⅶ**「消費者に支持され、愛される「萩ブランド」を市民とともに育て、まちの魅力を高める」について

・魚や農産物、地酒、肉類など様々なブランドが萩にはあるが、その流通形態はバラバラ。ブランド化と合わせ流通促進や流通体系の検証も必要。例えば「魚」。通販など、首都圏販路拡大を進めるにあたって、東京に萩から送った鮮魚を処理する専門の業者を設け、個配を行うといったニーズのある萩らしいサービスも検討できたらよい。

・首都圏で萩の情報発信を行うため、「食の祭典」を東京で実施してみてもどうか。

・地域商社やまぐちの多品種少量の販売展開について、良い商品を作る事業者にとってはチャンスであり、そのような事業者に対して商品開発等への支援があるとよい。